

## 作業療法 第45巻 第1号（通巻250号）目次

### ◆巻頭言

作業療法のリーズニングを研究実践に当てはめてみた . . . . . 小川 真寛 1

### ◆学術部報告

第59回日本作業療法学会の最優秀演題賞・優秀演題賞の表彰 . . . . . 学会企画運営班 3

### ◆原著論文

日本語版Grade-4/5MALの信頼性と妥当性の検討 . . . . . 山本 恵利香・他 6

地域在住高齢者における家庭内役割の認識—半構造化面接による質的分析—  
. . . . . 加納 裕遵・他 15

回復期リハビリテーション病棟に従事する作業療法士が協働的な目標設定に向けた  
面接評価時に抱く苦手意識—Step for Coding and Theorization (SCAT)を用いた分析—  
. . . . . 西岡 貴人・他 23

身体障害および老年期領域に勤務する若手作業療法士が初回面接評価実施時に経験する困難感  
—事例—コード・マトリックスによる分析を通して— . . . . . 白木 望・他 32

作業療法士が重症心身障害児の作業に焦点を当てた目標を設定するプロセス  
—SCATを用いたデブス・インタビューの分析を通して— . . . . . 吉田 尚樹・他 41

作業参加と老年期のうつ症状の関連の検討  
—地域在住高齢者を対象とした横断研究— . . . . . 栗田 洋平・他 50

地域在住要介護高齢者を支える家族介護者の生活様式と生活満足度の関係  
. . . . . 佐々木 智也・他 58

訪問作業療法における共作業に求められる身体性・情緒性・志向性に関する調査研究  
. . . . . 小野 健一・他 68

### ◆実践報告

日本語版Control Preference Scaleを活用した意思決定支援の実践  
—回復期リハビリテーション病棟における脳卒中患者の一事例— . . . . . 小山 貴士・他 77

うつ病のためのメタ認知トレーニングと作業療法の併用により思考パターンと  
援助希求行動に変化がみられたうつ病の一事例 . . . . . 川村 明代・他 85

自動車運転再開支援において作業機能障害に焦点を当てる必要性  
—代替移動手段の獲得後も作業機能障害が発生する可能性を示した事例— . . . . . 恩田 真也・他 92

認知症高齢者の意思決定を促すための実践プロトコルに基づく作業療法の効果  
—単一事例実験研究— . . . . . 間宮 美春・他 100

色カルタ・クオリアゲーム® 実施者の態度が認知症高齢者の笑顔の表出と  
社会的交流技能に及ぼす影響—シングルケーススタディー— . . . . . 猪股 英輔・他 107

## 編集後記

▶大学の教員を長く勤めていると、論文は英語で書かなければならない、しかもインパクト・ファクターが少しでも高い雑誌に投稿したいという気持ちが強くなりがちである。もちろん、この動機自体は間違っていない。しかし、その研究成果が社会、すなわち国内の臨床にどれほど役立つかという点においては、必ずしも一致するとは限らないだろう。さまざまな IT 環境の進化により英語論文の翻訳が容易になった現代においても、将来の患者の評価や治療に資する論文は、日本語で読めることに越したことはない。このような観点に立って、あらためて学術誌『作業療法』、そしてそこに掲載される論文に触れるたびに、その存在価値と有益性に深く感嘆する次第である。（S・N）

▶作業療法士には3つの役割が託されていると感じている。それはいわゆる作業療法の臨床・教育そして研究である。作業療法研究は、作業療法士に託されている3つの役割のひとつであり、本誌には作業療法による臨床実践や作業療法士教育の研究が十分に含まれているなら、とても読みごたえがあるだろう。また臨床実践の過程を丁寧に記した実践報告も大いに参考となる研究と考えている。そして作業療法の介入の糸口を幅広くとらえる調査研究も大変魅力的である。さて、本号を概観すると作業療法の臨床実践と作業療法士教育のコラボレーションを含む論文がいくつか掲載されている。また、様々な事例に対する介入や評価における創意工夫の計画された実践報告がある。さらに、生活者の行動や思いを幅広く取り上げる横断研究が見受けられる。新しい年を迎え、読者にとって本号が、さらに作業療法士の3つの役割に磨きをかける良い機会につなげられる糸口となれば、とても嬉しいと感じている。（T・S）